



JAPANESE B – STANDARD LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1

Tuesday 3 November 2009 (morning)
Mardi 3 novembre 2009 (matin)
Martes 3 de noviembre de 2009 (mañana)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'Épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

ながすみらい
長洲未来選手

〔女子フィギュアスケート〕



1993 年 4 月 16 日 生まれ。

カリフォルニア州 ^{しゅっしん} 出身。

両親は二人とも日本人。

家での会話は日本語。

だが、日本語の読み書きは ^{にがて} 苦手。

^{ながす} 長洲さんは 5 才のとき、スケートを始めました。普段は、^{ふだん} 両親とゴルフを習って
いました。でも、ある日、天気が悪かったので、かわりにスケートリンクに行きま
した。それが ^{みらい} 未来さんのスケートの始まりです。今は、毎朝 6 時から 2 時間ほどロ
サンゼルスで練習しています。そして、学校から帰った後は、お父さんの
すし屋で宿題をしています。

2010 年のバンクーバー・オリンピック〔カナダ〕には出場できる年になります。
^{みらい} 未来さんの ^{しょうらい} 将来が楽しみです。

問題 B

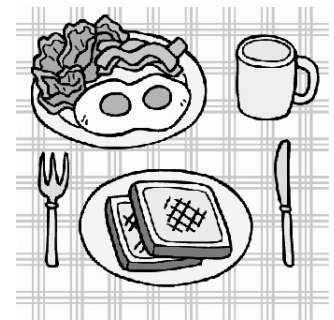
食育白書

みなさんは、毎日朝食を食べていますか。「食育白書」によると、生徒の 5 人に 1 人は朝ご飯を食べないそうです。朝食を食べないと、つかれて、学校でしっかり勉強できません。また、最近、太りすぎの生徒が ふえている事も問題です。

「食育白書」は、みなさんの食事やその問題についてのレポートです。正しい食生活の教育に力を入れている学校も しょうかいしています。

例えば、農場見学ができる「教育ファーム」が全国に広がっています。農業だけではありません。東京の学校の生徒は修学旅行で四国へ行きました。そのとき、ふねに乗って海に出て、魚をとる様子を見ました。それから、その魚をさしみにしたり、料理したりして食べてみました。

これは都会ではできない学習です。生徒たちは「魚を切るのは初めてだったが、自分で作った料理はおいしかった。きれいな食べ物もあるが、これからなくそうと思った」などと話していました。



食育白書には、若いときから正しい食生活をするのは、とても大切だと書いてあります。若いときの食生活は、大人になっても続くからです。

さて、みなさんの食生活は だいじょうぶですか。

問題 C

物を大切にする心

主婦 しゅふ
山田良子

私は中学三年生のむすこがいる。ある日、台風たいふうの中、じゆくへ行つたむすこが「かさがこわれた」と言つて帰つて来た。広げてみると、ほねが三本おれていた。すてようと思つて、げんかんにおいておいた。

次の日、町に物を直してくれる店がある事を思い出して、かさを持つていった。店の値段ねだんひようには、「かさのほね 一本三百円」と書いてあつた。三本で九百円。新しい かさは五百円で買えるのだから、高いと思つた。でも、物がこわれたとき、むすこにすぐ新しい物を買うのもいい事ではない。「どうしますか」と聞く店の人に、教育費こみの九百円だと思い、お願いした。

かさをとりに行くと、店の人は「六百円でいいです」。私がびっくりすると、「直して使おうという気持ちがうれしくてね」。

げんだい現代は物を直すより新しいのを買うほうが安いので、次つぎと新しい物を買つてしまう。作る人も使う人も物の大切さを感じない。こんな社会で、あの店は商売しょうばいがやつていけるのだから、心配になつた。



問題 D

かくだい 拡大教科書足りません

目が見えにくい子は、^{かくだい}拡大教科書を使って勉強します。^{かくだい}拡大教科書は、字が大きくて、読みやすいです。しかし、^{かくだい}拡大教科書の多くはボランティアが手で作っているのです、教科書は まだまだ足りません。

2004 年度には^{かくだい}拡大教科書を使っている小中学生が 538 人、2006 年度には 634 人いました。そのうち 20% は会社が発行している教科書を使いますが、80% はボランティアの手作り教科書を使っています。

例えば、よこはま市のボランティア・グループ「ワルツ」は 17 人で、小学生 4 人の教科書を 10 科目分作っています。まず、教科書の絵や図をカラーコピーします。文字は手で書いて、13-17mm の大きさにします。国語の教科書は、二人のボランティアが、5 か月かけて作りました。^{かくだい}拡大教科書を使う神田君は、数学、科学、音楽の教科書をボランティアに作ってもらいました。しかし、ボランティアが忙しすぎたので、歴史や地理は^{ふつう}普通の教科書です。

めがねをかけても教科書がよく見えない生徒は ^{せいと}1739 人。^{かくだい}拡大教科書をもらった生徒のやく 3 倍です。つくば大学の^{うの}宇野先生は、「学校で必要な教科書をボランティアに作ってもらうのは おかしい」と、「教科書バリアフリー^{ほう}法」を作るように、国会に よびかけています。



かくだい
拡大教科書